

アンケート集計結果 パーク24株主通信2021（2020年10月期通期実施）

2021年1月に発行した株主通信のアンケートにおいて、多くのご回答をいただき、誠にありがとうございました。当アンケートでは、前期（2020年10月期）における当社の株主還元について、大変多くのお言葉を頂戴しました。

新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の影響により、依然として厳しい事業環境が続いており、株主の皆様には多大なるご心配をおかけしておりますが、グループ一丸となって株主の皆様のご期待に沿えるよう業績の改善に向けて邁進しております。甚だ勝手なお願いではございますが、引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以下に、株主様からいただいたサービスに関するコメント等の一部を紹介させていただきます。

株主の皆様からのメッセージをご紹介します。

株主様 駐車場の住所が分らない。 スマホで駐車場の状況を確認できるようにして欲しい。 アプリ等で駐車場の場所や料金や空いているかを知らせて欲しい。	株主様 住宅街にもカーシェアがあれば自家用車が要らなくなります。 カーシェアが住宅地に配置されると便利です。 街の人口推移や変化から需要がありそうな範囲を事前に予測し、車を置いてほしい。	株主様 海外でカーシェアリング事業は行っていないのでしょうか。私は国内のカーシェアリング事業は素晴らしいと思っており、海外においても勝機があるのではないかと考えています。 海外事業の将来性を知りたい。	株主様 電気自動車（EV）に対する方針をもっと明確に示してほしい。 EV時代に合わせたカーシェアを考えて欲しい。 これから電氣化が進む自動車業界。駐車場も対応できるよう遅れないように。
--	--	--	---

パーク24グループ 当社の運営するタイムズパーキングの住所・料金体系・リアルタイムの空き状況などは、スマートフォンアプリまたはWEBからいつでもご確認いただけます。 他にも、駐車したい時間を入力すると料金を自動計算する機能や、現在地から目的のタイムズパーキングまでのルート検索機能(アプリのみ)など、便利にご利用いただけるサービスを提供しております。 スマートフォンアプリ 「タイムズの駐車場検索」 https://times-info.net/sp_app/ 	パーク24グループ 感染症の影響で、法人会員における営業活動や出張先での利用、個人会員における旅行やレジャー等の利用が減少し、タイムズカーの稼働は落ち込みました。その一方で、通勤や日用品の買い物・家族の送迎などの日常的な移動手段として、以前よりも多くご利用される会員様もいらっしゃいます。当社は、このような使われ方の変化やエリアごとの需要の変化を迅速に把握し、それに応える最適な車両配備を進めています。 また、ひとつのスペースから複数の車両を貸し出すことのできるタイムズカーの特徴を活かし、今後はさらにきめ細やかにお客様のニーズに応えられるよう運用改善を図って参ります。	パーク24グループ 現在、当社グループは海外では駐車場事業のみ展開しており、モビリティ事業は行っておりません。しかし将来的に、海外でもモビリティ事業を展開することを視野に入れております。 そのためにも、駐車場ネットワークをさらに拡大していく必要があり、現在は「各国版タイムズパーキング（P.7 TOPICS参照）」の開発を強力に推進しています。 海外の駐車場事業は日本以上に感染症の影響を強く受けており、厳しい状況が続いております。しかし、こうした状況の中においても事業構造改革を行うことで、直近の事業リスク低減と収益力の向上を図っております。	パーク24グループ 今回のアンケートでは、EVに関するコメントを多くいただきました。世界的なEVシフトの潮流は加速しており、当社も着実に準備を進めています。 駐車場への充電器設置や、モビリティサービスにEVを導入するなど、事業としての課題や知見を収集しています。現状、国内におけるEV普及率の低さ、EVの連続航続距離の短さや充電時間の長さなど、本格的な事業化にはいくつかのハードルがあります。しかし、将来的にEV主流の時代が到来した際、現在の取り組みから得られた知見を活かし迅速に事業展開できると考えています。
--	---	---	---

パーク24 株主通信 2021

2021年10月期 第2四半期

2020年11月1日～2021年4月30日



社長メッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々および感染症の拡大により困難な生活環境におられる皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、過酷な状況下において活動されている医療従事者をはじめ、感染防止に奮励されている方々、社会や生活の安定に必要な事業に携わられている方々のご尽力に、心より感謝申し上げます。

2020年から始まった世界的な感染症の拡大、その対策としての緊急事態宣言やロックダウンなどの行動規制により、人々の移動は激減しました。それに伴い、駐車場やモビリティといった人々の移動に直結するパーク24グループ（以下、当社グループ）のサービスの稼働は大きく落ち込みました。現在は、ワクチンが開発され日本国内でも接種が始まるなど、少しずつ事態は改善しているものの収束までは遠く、厳しい事業環境が続いています。

このような状況下で、当社グループは前期（2020年10月期）に引き続き「お客様の安全を守る」「社員の安全を守る」「交通インフラサービス企業としての使命を果たす」という3つの基本方針のもと、サービスをご利用いただくお客様・サービスを提供する当社グループ社員とともに感染しない・させない対策を徹底した上で、継続して各サービスを提供しています。また、業績への取り組みとしては、現在の需要に合致するサービス供給およびサービス展開を行うと同時に、事業構造改革を推進することで収益の改善を図っています。

2021年10月期 通期連結業績の見通し

2020年12月からの国内における感染の急拡大、それに伴う二度の緊急事態宣言の発令や英国における長期間のロックダウンなど、当初の想定よりも状況が悪化したことにより、駐車場・モビリティサービスともに稼働が大きく落ち込みました。これに対し当社グループは、前期より継続した徹底的なコストの抑制・削減を行うことで収益確保に努めましたが、売上高の落ち込みをカバーできず、上期は計画未達となりました。下期（5月～）に入ってから、緊急事態宣言の延長や、変異ウイルスの拡大など、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況を踏まえ、当社グループは通期の業績予想を修正いたしました。また、修正計画における当期純損失95億円と利益の確保が難しい見込みであること、さらに依然として続く厳しい経営環境の中で、手元流動性の確保と財務基盤の安定化が必要であることなどから、大変申し訳ないことではございますが、当期末の配当予想を無配とすると同時に株主優待(タイムズチケット)も中止いたしました。

2021年10月期 通期連結業績・配当予想

	売上高	営業利益 又は損失	経常利益 又は損失	当期純利益 又は損失*	配当金
当初予想	2,820億円	135億円	85億円	50億円	5円
修正予想	2,550億円	▲35億円	▲70億円	▲95億円	0円
増減額	▲270億円	▲170億円	▲155億円	▲145億円	▲5円

※親会社株主に帰属する当期純利益又は損失

中長期的な見通し

感染症はいつか必ず収束します。そして収束後には、これまで制限されていた人やモノの移動が再び活発化し、それを繋ぐ駐車場やクルマも感染症拡大前と同じように活用されと考えています。当社グループは引き続き4つのネットワーク（駐車場、クルマ、人（会員）、街（目的地））の拡大とシームレス化を進め、収束後、多くの方により便利にご利用いただけるサービスの構築を目指します。

ネットワークの拡大については、これまで培った営業ノウハウや蓄積されたデータから得られる市場情報などを活用し、2024年までに国内駐車場100万台、タイムズカー10万台、タイムズクラブ会員1,000万人を目指します。シームレス化については、それらネットワークを新しい技術やサービスなどで繋げることで、お客様が当社グループの全サービスをストレスなく一体的にご利用いただける環境を構築していきます。

さらに、感染症収束後に、グループとしてスピード感を持って成長していけるよう各事業の構造改革を進めていきます。

駐車場事業国内	事業の筋肉質化	▶	安定成長
モビリティ事業	タイムズカー 運営基盤の確立	▶	向こう5年の 成長ドライバー
駐車場事業海外	事業ポートフォリオの 最適化	▶	向こう5～10年の 成長ドライバー

駐車場事業国内においては、管理・メンテナンス方法の見直しにより運営コストを圧縮すると同時に、恒常的な赤字物件の対応を行うことで事業の筋肉質化を図ります。また、お客様がより便利に安心してご利用いただける新しいモデルの駐車場開発（P.5参照）を進め、今後も安定的に成長する事業へと改革していきます。

モビリティ事業は、感染症を機に前期から強力に推進しているタイムズカーサービスについて、より正確に需要に適應できるクルマの配回送システム（P.6参照）など、運営基盤の確立を進めます。これにより1台当たりの稼働を高め、収益性を向上、当社グループの第二の柱として成長させていきます。

駐車場事業海外は、各国版タイムズパーキング（P.7参照）の開発を進めることで事業ポートフォリオを最適化し、収益力の改善を図ります。これにより今後5～10年で、当社グループを牽引する事業へと成長させることを目指します。

2期連続の赤字見込み、それに伴う配当予想の修正など、株主の皆様には、多大なるご心配・ご迷惑をお掛けしておりますが、経営層はじめ、グループ社員一同、一刻も早い業績回復を目指し日々邁進しております。甚だ勝手なお願いではございますが、皆様には引き続きのご支援・ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

西川 光一

上期業績ハイライト

当期初は、日本国内においては感染症の拡大が比較的落ち着いていたこともあり、駐車場事業・モビリティ事業ともに感染症拡大前の2019年10月期の水準に向けて順調に回復しました。しかし2020年12月後半からの急速な感染拡大と、それに伴う2021年1月の二度目の緊急事態宣言発令により人々の移動が減少し、稼働が落ち込みました。その後、緊急事態宣言のエリア縮小・解除に伴い3月にかけて徐々に回復したものの、4月のまん延防止等重点措置の適用や三度目の緊急事態宣言の発令により、再び稼働が落ち込みました。

海外においては、展開国ごとに状況の差はあるものの、依然として感染症の影響を強く受けました。特に英国における2020年12月からの強制力の強いロックダウンの影響は大きく、事業全体として低調な推移が続きました。

この結果、売上高1,218億円（前年同期比83.7%）、売上総利益172億円（同67.3%）、営業損失65億円（前年同期営業損失12億円）、経常損失89億円（同損失20億円）、親会社に帰属する四半期純損失89億円（同損失25億円）となりました。

上期 連結業績ハイライト	`19/10月期	`20/10月期	`21/10月期
売上高	1,541億円	1,456億円	1,218億円
売上総利益	364億円	255 億円	172億円
営業利益又は損失	99億円	▲12億円	▲65億円
経常利益又は損失	95億円	▲20億円	▲89億円
当期純利益又は損失*	56億円	▲25億円	▲89億円

※親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失

III 駐車場事業国内

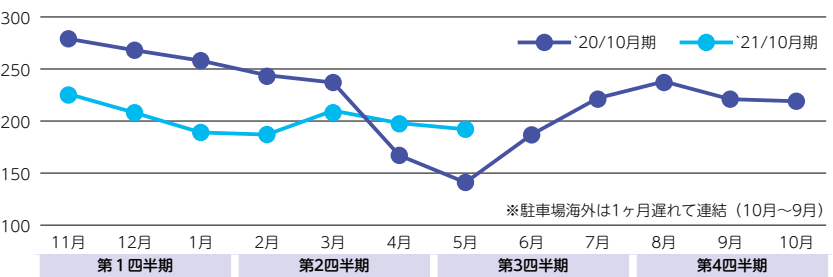
感染症の急拡大や二度にわたる緊急事態宣言の発令などの影響を強く受け、上期全体を通じて駐車場の稼働は想定より低い推移となりました。

このような状況を受け、前期に引き続き様々な施策に取り組みました。既存の物件については、現在の需要に合致させる運用を行うと同時に、管理・メンテナンスコストの削減や恒常的な赤字物件の縮小、土地・施設オーナー様に賃料改定をお願いをさせていただくなど、事業の継続に努めました。また、新規の物件開発については、現在の需要環境においても収益が見込める物件に絞った厳選開発を継続して行っています。

この結果、月極駐車場および管理受託駐車場を含めた総運営件数は19,921件（前期末比97.9%）、総運営台数は740,099台（同99.2%）となり、売上高729億円（前年同期比7.6%減）、事業利益64億円（同2.0%減）となりました。

連結売上高の月次実績推移

(単位：億円)



III モビリティ事業

駐車場事業国内と同様、感染症の拡大や行動規制に伴う、個人の旅行やレジャー需要、法人の出張需要などの落ち込みにより低調な稼働が続きました。

この対策として、需要の低いエリアから高いエリアへの車両配備の見直しを行い、1台当たりの稼働を高める施策に取り組みました。特に、都心部での日常的な利用の需要が強い状況を踏まえ、東京都を中心にタイムズカーの営業所を多く開設し、サービスネットワークの強化に努めました。また、前期に引き続き、通勤などで利用しやすいよう夜間の利用料金を下げるキャンペーンを行うなど、現在の需要に合ったサービス展開を進めました。

この結果、モビリティ事業全体での車両保有台数は46,086台（前期末比102.8%）、タイムズカー専用車両は31,349台、会員数は1,585千人（同105.2%）となり、売上高316億円（前年同期比13.9%減）、事業利益12億円（同19.6%減）となりました。

上期 事業別業績ハイライト	`19/10月期	`20/10月期	`21/10月期
駐車場事業国内	売上高	806億円	788億円
	事業損益	137億円	66億円
モビリティ事業	売上高	405億円	367億円
	事業損益	30億円	15億円
駐車場事業海外	売上高	330億円	301億円
	事業損益	8億円	▲3億円

III 駐車場事業海外

主要展開国である英国においては、2020年12月に発令された強制力の強いロックダウンの影響で、稼働は大きく低下しましたが、3月からの段階的な規制緩和に伴い徐々に回復基調となりました。オーストラリアは、州やエリアごとに1～2週間程度の短期ロックダウンなどが散発されましたが、稼働は緩やかに回復しました。

こうした状況を踏まえ、各展開国において不採算物件の対応や賃料改定の交渉を積極的に行うと同時に、オペレーション体制の見直しを通じた管理・メンテナンスコストの削減・効率化に取り組みました。また、各国版タイムズパーキング（P.7参照）の開発による事業ポートフォリオの最適化に努めました。

この結果、海外の駐車場の総運営件数は2,839件（前期末比100.2%）、総運営台数は676,258台（同97.1%）となり、売上高は175億円（前年同期比42.0%減）、事業損失は69億円（前年同期3億円の事業損失）となりました。

サービス規模		`19/10月期末	`20/10月期末	`21/10月期上期
国内駐車場	件数	20,337件	20,353件	19,921件
	台数	755,809台	746,033台	740,099台
タイムズカー	台数	57,716台	44,841台	46,086台
	会員数	1,305千人	1,506千人	1,585千人
海外駐車場	件数	2,631件	2,834件	2,839件
	台数	665,774台	696,495台	676,258台

駐車場事業国内 新しいモデルの駐車場開発

当社グループは、お客様がより便利に安心してご利用いただけるよう、今までにない新しい技術やデザインを多く取り入れた駐車場「次世代タイムズパーキング」の開発を進めています。

この駐車場には、これまで各車室に設置していたフラップ板がなく、クルマの入出庫や乗降、車椅子での移動や大きな荷物の運搬などにおけるストレスを軽減しています。また、狭い路地やビルの間など目立たない立地であってもお客様がすぐに見つけることができるよう、周囲を独自のフェンスで囲っています。さらに、支柱部分も光ることで従来よりも広範囲を照らすことができる照明灯を設置することで、夜間も安心してご利用いただけます。

次世代タイムズパーキングは、お客様の利便性を向上すると同時に、当社グループにとってもメリットの大きいサービスだと考えています。フラップ板などの駐車場機器を減らすことで開設時の機器関連費用が抑えられます。料金看板は電子ペーパーのため、料金変更などを迅速かつ低コストで反映できます。また、ロゴ看板などをひとつに統合することで、より効率

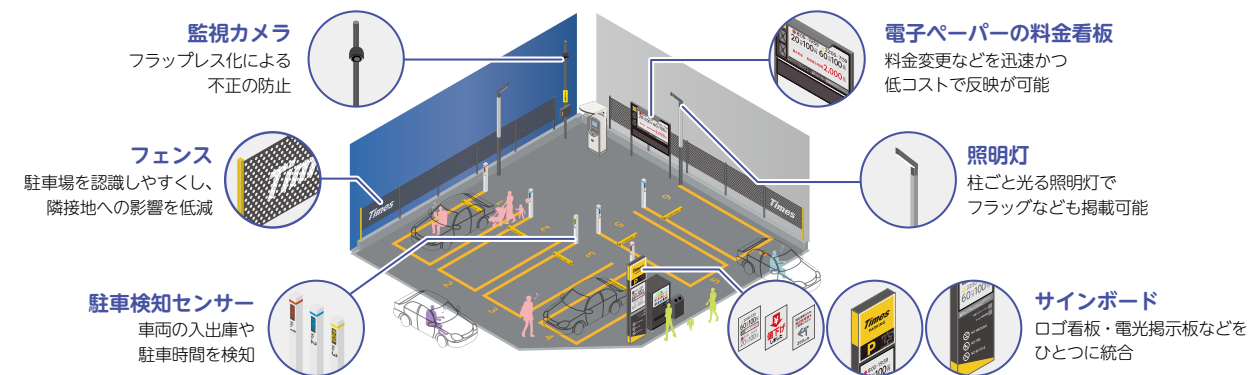
的な土地スペースの活用が可能となっています。

現在、当社グループは実証実験の位置付けで、これら機能を盛り込んだ物件を実際に運営し、サービスにおける課題や知見の収集を進めています。

こうした次世代タイムズパーキングと併せ、当社グループはアプリで精算（出庫処理）ができるサービスの実証実験も行っています。この駐車場は、タイムズクラブアプリに実装しているQRコードによるキャッシュレス決済機能を活用することで、クルマに乗ったまま精算・出庫ができます。クルマの入出庫は車番認証で行い、精算はアプリ上で行うため、入り口のゲートやフラップ板、精算機などの機器はありません。お客様は出庫の際に、アプリで看板等に掲載のQRコードを読み取り、駐車したクルマの車両ナンバーを入力し精算するだけで、従来の駐車場の精算における手間が不要になります。

当社グループはこのような取り組みを通じ、新しい技術や機能をサービスに導入することでお客様の利便性を向上し、タイムズパーキングを、より選ばれる駐車場へと進化させていきます。

次世代タイムズパーキング



アプリ精算式の駐車場



モビリティ事業 タイムズカーの展開

モビリティ事業では「タイムズカー」サービスを強力推進しています。タイムズカーは、カーシェアリングサービスにレンタカーサービスの利便性を付加した新しいモビリティサービスです。借りられる期間は最長3日、ひとつのスペース（車室）から借りられる台数は1台・1車種のみといった、これまでのカーシェアリングサービスにおける不便を解消することで、お客様は最短15分から好きな期間だけ（最長72日間）、国内約13,000箇所ある貸出拠点から、24時間いつでも、好きな車種を借りることができます。クルマの借り方は従来のカーシェアと同様で、会員登録後にアプリまたはWEBから予約し、会員カードを使ってクルマの解錠をします。

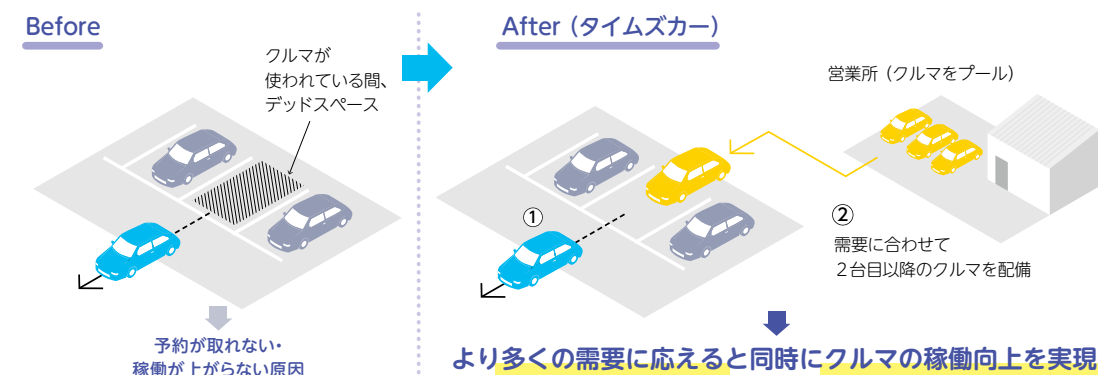
このサービスを支える主な仕組みは、需要に合わせた適切な車両配備です。従来のカーシェアリングサービスは、ひとつのスペースから1台のクルマしか貸すことができない上、クルマが使われている間、その場所はデッドスペースとなります。タイムズカーでは、クルマをプールしておく営業所を設け、そこからクルマを配送することで、ひとつのスペースから複数

台貸し出すことができます。これにより、より多くの需要に応えられると同時に、1台当たりの稼働向上が見込めます。

タイムズカーは2019年10月期からトライアルを始め、2020年10月期に本格展開を開始しました。2020年10月期の第2四半期以降、感染症の影響によるインバウンドや旅行需要の激減に伴いレンタカーの需要が大幅に落ち込んだことから、レンタカー車両のタイムズカー化およびレンタカー店舗のタイムズカー営業所化を迅速に進めました。2021年4月には、さらなる本格的なサービス推進のため、カーシェアリングサービス名称「タイムズカーシェア」を「タイムズカー」に名称変更しました。また、今までレンタカーサービスで応えていた長時間需要に対応するため、6時間を超える長時間利用料金の適正化を行いました。

今後も車両台数および貸出拠点のネットワークを拡大・充実すると同時に、お客様のニーズに応えられるようサービスの進化を続けてまいります。

車両配備の仕組み

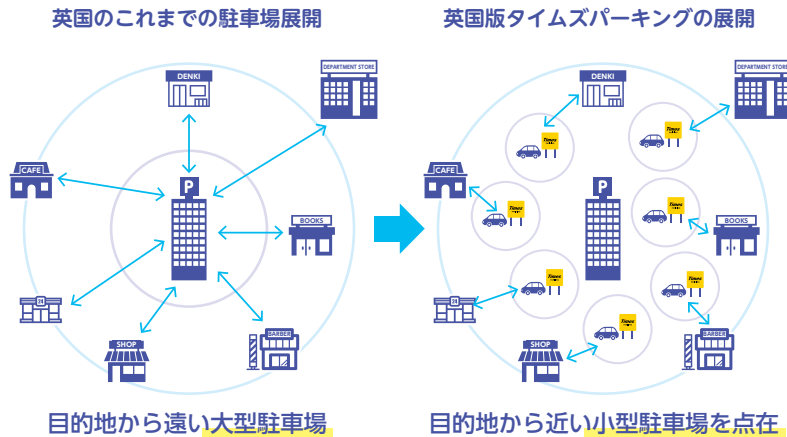


駐車場事業海外 英国版タイムズパーキング

英国における時間貸駐車場は一般的に、パーキングメーターを使った路上駐車場と、繁華街や商業施設、駅近くに立地する大型の路外駐車場の2タイプに大別されます。路上駐車場は道路上にあるため、お客様の目的地近くに駐車できる一方で、駐車時間に制限があり、短時間しか停められません。大型の路外駐車場は長時間駐車できる一方、物件数が少なく目的地から遠いという不便さがあります。

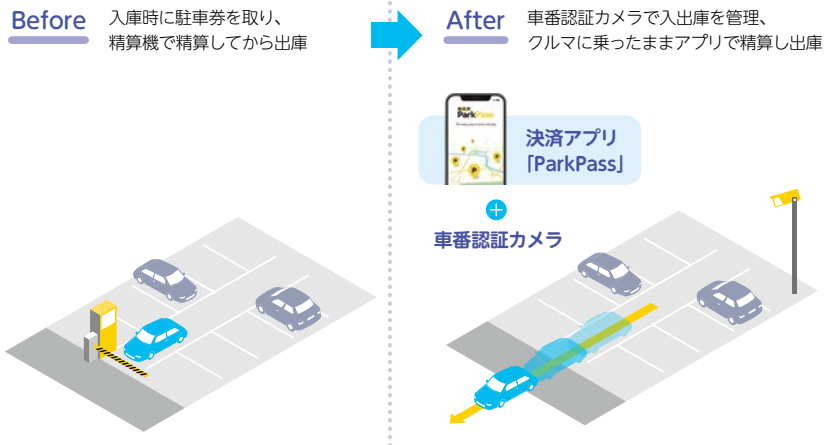
このような市場環境を踏まえ、National Car Parks（以下、NCP）は、目的地に近く長時間駐車可能な英国版タイムズパーキングの開発を進めています。国内のタイムズパーキングと同様、小規模な土地を短期契約で貸借し、小型の駐車場を運営するモデルです。駐車場を細かく点在させ、エリアドミナントを実現することで、多くの目的地に近い便利なサービスネットワークの構築を目指しています。

英国版タイムズパーキングの展開イメージ



さらに、英国版タイムズパーキングは独自のスマートフォンアプリ「Park Pass」により、シームレスに利用することができます。お客様はあらかじめ、氏名やクレジットカードなどの個人情報、車のナンバーを登録しておく、駐車券の受け取り等の手続きなく入出庫できます。駐車した車は車番認証カメラで管理され、精算はアプリ上で行うため、駐車場には入口のゲートや精算機がありません。そのため、物件開設の初期費用が低く、早い段階での収益貢献が期待できます。現在、英国版タイムズパーキングは、新しい土地活用の方法として土地オーナー様に認知されはじめ、また便利な駐車場としてお客様にご利用いただいており、着実に規模を拡大しています。感染症収束後、スピード感を持って英国における収益を改善していくよう、本取り組みを一層加速していきます。

決済アプリ「ParkPass」の利用イメージ



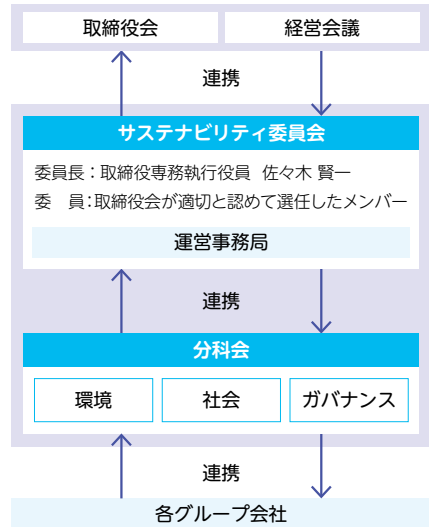
サステナビリティ委員会

“サステナビリティ”は“持続可能性”という意味で、「環境・社会・経済の観点から将来にわたって世の中を持続させていく」という考え方を指します。環境や社会課題の解決が求められる中、2015年に国連がSDGs*を掲げたこともあり、近年注目が集まっています。このような背景のもと、企業においても、環境や社会課題を解決することで企業価値を高めていく経営が強く求められています。

当社グループは、これまで交通インフラサービスを提供する企業として、駐車場の拡大による路上駐車の抑制やモビリティサービスと公共交通機関との連携による移動最適化など、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでまいりました。今後、環境や社会課題の解決に対して、より強力にグループ横断的なサステナビリティに関する取り組みを遂行するため、2021年3月にサステナビリティ委員会を設置しました。当委員会は、サステナビリティに関する方針・戦略の策定や、SDGsなどに沿った具体的な目標を設定し、取締役会への報告や提言を行うとともに設定した目標の達成に向け、グループ横断的な取り組みを強力に推進してまいります。

*“Sustainable Development Goals”の略で日本語訳は“持続可能な開発目標”。持続可能な社会を世界レベルで実現するために、2015年9月に国連で合意された世界共通の目標。

サステナビリティ推進体制



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



柔道部活動報告

当社グループは社会貢献活動の一環として2010年に実業団柔道部を創設し、選手の強化育成に励んでいます。柔道部に所属する選手のうち、男子60kg級の高藤直寿・66kg級の阿部一二三、女子48kg級の渡名喜風南・78kg超級の素根輝の4名が、今年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックの代表に内定しています。

オリンピックでの金メダル獲得は、創部当初からの大きな目標のひとつであり、自国で開催される今大会でその悲願を達成すべく、代表に選ばれている選手は日々努力を重ねています。

高藤選手と渡名喜選手が大会初日の7月24日、阿部選手が7月25日、素根選手が7月30日、それぞれ出場予定です。ご声援のほど、よろしく願いいたします。



会社概要／株式の状況／株主メモ

(2021年4月30日現在)

会社概要

商号	パーク 2 4 株式会社	
本社所在地	〒141-8924 東京都品川区西五反田二丁目20番4号	
創業	1971年8月26日	
役員	代表取締役社長 取締役	西川 光一 佐々木 賢一 川上 紀文 川崎 計介 山中 新吾 大浦 善光（社外） 長坂 隆（社外）
	監査等委員である取締役	笹川 顕史 竹田 恆和（社外） 丹生谷 美穂（社外）
資本金	20,171百万円	
決算期	毎年10月31日	
従業員数	5,211名（連結）	
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人	

(2021年4月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	283,680,000株
発行済株式の総数	155,048,369株
1単元の株式数	100株
株主数	50,225名

自己株式 0.34%

証券会社 0.75%

金融機関 24.74%

個人・その他 24.20%

外国法人等 32.33%

その他の法人 17.65%

株主構成

	人数（名）	構成比	持株数（千株）	構成比
政府・地方公共団体	0	0.00%	0	0.00%
金融機関	42	0.08%	38,358	24.74%
証券会社	30	0.06%	1,156	0.75%
その他の法人	330	0.66%	27,360	17.65%
うち、証券保管振替機構	1	0.00%	12	0.01%
外国法人等	387	0.77%	50,122	32.33%
うち、個人	73	0.15%	16	0.01%
個人・その他	49,435	98.43%	37,521	24.20%
自己株式	1	0.00%	528	0.34%

大株主の状況

名前	持株数（千株）	持株比率
有限会社千寿	21,746	14.03%
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	11,036	7.12%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	9,418	6.07%
西川 光一	8,110	5.23%
西川 功	6,194	3.99%
日本信号株式会社	3,853	2.49%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 510312	3,839	2.48%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 510311	3,460	2.23%
西川 恭子	3,200	2.06%
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	2,715	1.75%

株主メモ

証券コード	4666
事業年度	11月1日～翌年10月31日
定時株主総会	毎年1月下旬
基準日	定時株主総会 10月31日 期末配当 10月31日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

●株式事務に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

0120-232-711

（通話料無料／土・日・祝祭日を除く9：00～17：00）

※当社株式事務に関する一般的なお問い合わせも受け付けています。

●ご注意

- ① 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社など）で承ることとなっています。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ② 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっていますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り次ぎいたします。
- ③ 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは各口座管理機関を経由して、配当金振込指定書をお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きについての詳細は、各口座管理機関にお問い合わせください。
- ④ 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

●IR情報に関するお問い合わせ先

経営企画本部 グループ企画部

TEL：03-6747-8120 FAX：03-6747-8110

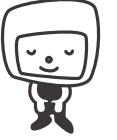
E-mail：ir@park24.co.jp

ホームページにもIR情報を掲載しています。

https://www.park24.co.jp/ir/

株主様向けアンケート

株主の皆様の声をお聞かせください



下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード
4666

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信



kabu@wjfm.jpへ空メールを送信してください。
（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、下のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
ご回答いただいた方の中から抽選で
薄謝（図書カード500円）を当選させていただきます。



※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

(1809)

地球環境にやさしいFSC 認証紙と植物油インキを使用しています。

9

10